

野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース/Bコース

運用報告書(全体版)

第9期（決算日2021年11月15日）

作成対象期間（2021年5月15日～2021年11月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2017年2月23日から2027年11月15日までです。	
運用方針	野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）に実質的に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資対象	野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース/Bコース マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース/Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 率			
	円		円	%	%	%	百万円
5期(2019年11月14日)	12,945		250	5.7	96.0	—	112,355
6期(2020年5月14日)	12,604		250	△ 0.7	95.6	—	96,038
7期(2020年11月16日)	15,220		300	23.1	98.0	—	101,107
8期(2021年5月14日)	15,385		300	3.1	98.7	—	90,842
9期(2021年11月15日)	18,728		500	25.0	97.3	—	104,111

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首) 2021年5月14日	円		%	%	%
	15,385		—	98.7	—
5月末	16,321		6.1	98.2	—
6月末	17,708		15.1	96.5	—
7月末	18,091		17.6	96.3	—
8月末	18,539		20.5	95.4	—
9月末	17,228		12.0	97.3	—
10月末	18,484		20.1	96.5	—
(期 末) 2021年11月15日		19,228	25.0	97.3	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 率			
	円		円	%	%	%	百万円
5期(2019年11月14日)	13,358		250	6.3	96.0	—	119,216
6期(2020年5月14日)	12,863		250	△ 1.8	95.6	—	97,705
7期(2020年11月16日)	15,401		300	22.1	98.0	—	100,111
8期(2021年5月14日)	16,333		350	8.3	98.7	—	92,825
9期(2021年11月15日)	20,596		600	29.8	97.3	—	110,176

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首) 2021年5月14日	円		%	%	%
5月末	16,333		—	98.7	—
6月末	17,378		6.4	98.2	—
7月末	18,966		16.1	96.5	—
8月末	19,209		17.6	96.3	—
9月末	19,760		21.0	95.4	—
10月末	18,653		14.2	97.3	—
11月末	20,332		24.5	96.5	—
(期 末) 2021年11月15日		21,196	29.8	97.3	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

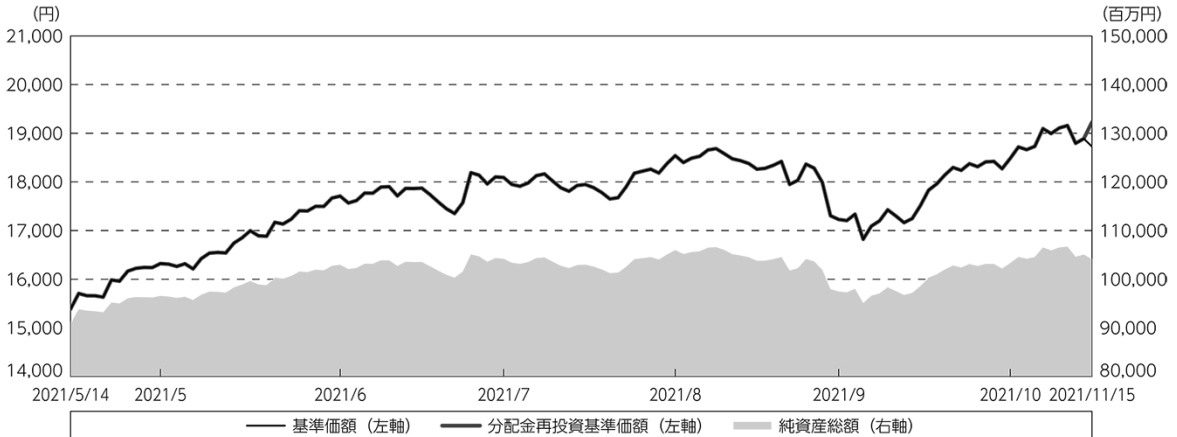
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2021年5月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (上昇) パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長が利上げを急がない姿勢を示したこと、バイデン米大統領が超党派の上院議員とインフラ投資法案で合意に達したこと、2021年4-6月期の米企業決算が市場予想を上回ったこと
- (下落) 米国での新型コロナウイルスの感染再拡大や市場予想を下回った8月の米雇用統計を受けて景気の先行き不透明感が意識されたこと、中国の大手不動産会社の債務問題により投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、FOMC(米連邦公開市場委員会)を受けて米金融政策の正常化が意識され、米長期金利が上昇基調となったこと
- (上昇) 新型コロナウイルスの経口治療薬の早期実用化への期待が台頭したこと、主要な米国企業の2021年7-9月期決算が市場予想を上回ったこと

<Aコース>

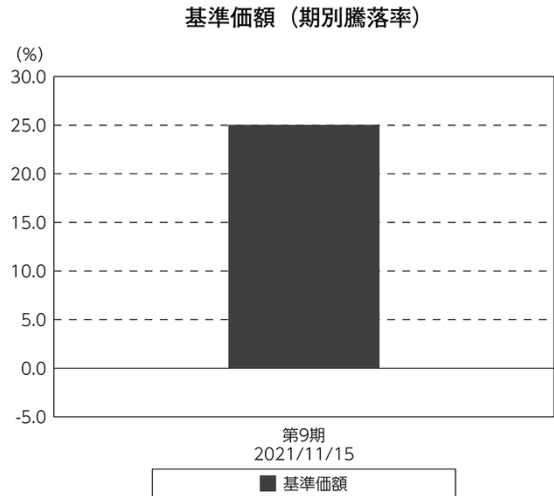
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

保有銘柄のうち、世界的な半導体需給の逼迫に加え、企業がデジタルトランスフォーメーションを進める中で、データ処理能力の高い当社製品の需要増期待が高まったことなどからエヌビディア（米国の半導体・半導体製造装置株）などが上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。

一方、米長期金利の上昇が懸念されたことやユーザー数の今後の成長に対する不透明感が高まったことなどからチェグ（米国の各種消費者サービス株）などが下落したことが基準価額のマイナス要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

- (1) 分配金につきましては、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり500円とさせていただきます。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第9期
	2021年5月15日～ 2021年11月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	500 2.600%
当期の収益	500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,728

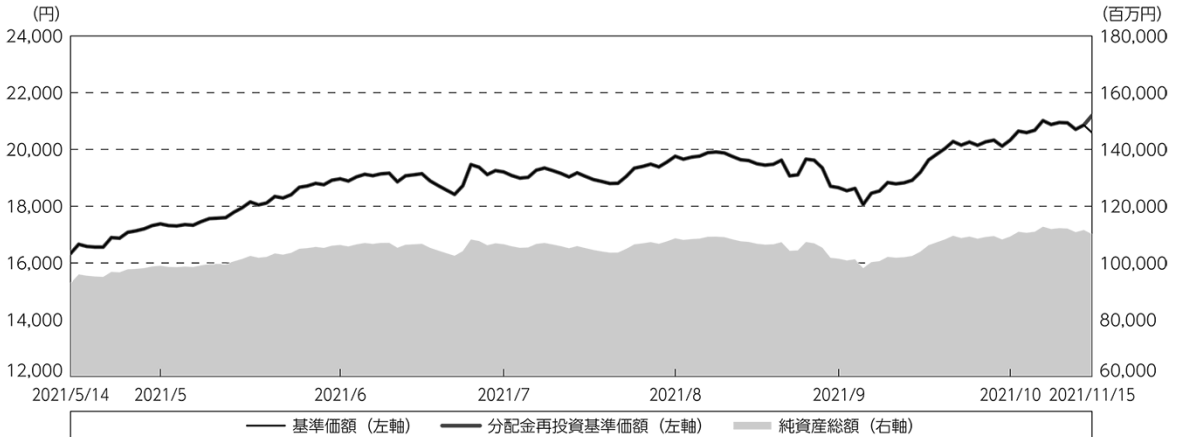
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てて算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：16,333円

期末：20,596円 (既払分配金(税込み)：600円)

騰落率：29.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2021年5月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

(上昇) パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長が利上げを急がない姿勢を示したこと、バイデン米大統領が超党派の上院議員とインフラ投資法案で合意に達したこと、2021年4-6月期の米企業決算が市場予想を上回ったこと

(下落) 米国での新型コロナウイルスの感染再拡大や市場予想を下回った8月の米雇用統計を受けて景気の先行き不透明感が意識されたこと、中国の大手不動産会社の債務問題により投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、FOMC(米連邦公開市場委員会)を受けて米金融政策の正常化が意識され、米長期金利が上昇基調となったこと

(上昇) 新型コロナウイルスの経口治療薬の早期実用化への期待が台頭したこと、主要な米国企業の2021年7-9月期決算が市場予想を上回ったこと、為替市場で円が下落(円安)したこと

<Bコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

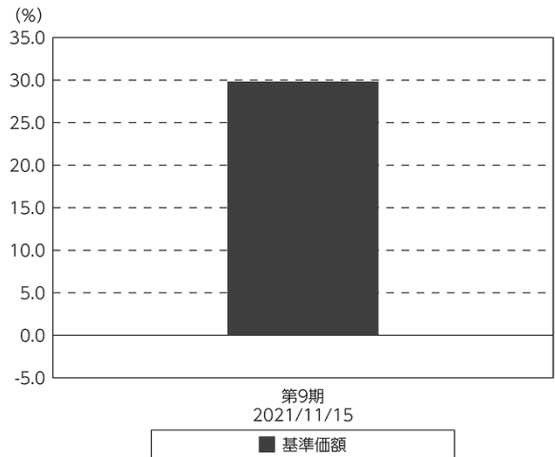
当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

保有銘柄のうち、世界的な半導体需給の逼迫に加え、企業がデジタルトランスフォーメーションを進める中で、データ処理能力の高い当社製品の需要増期待が高まったことなどからエヌビディア（米国の半導体・半導体製造装置株）などが上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。

一方、米長期金利の上昇が懸念されたことやユーザー数の今後の成長に対する不透明感が高まったことなどからチェグ（米国の各種消費者サービス株）などが下落したことが基準価額のマイナス要因となりました。

基準価額（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

- (1) 分配金につきましては、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり600円とさせていただきます。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第9期
	2021年5月15日～ 2021年11月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	600 2.831%
当期の収益	600
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,596

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てて算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

世界の株式市場は、当期初、経済活動が正常化に向かう中、雇用回復観測が強まったことなどを背景に上昇して始まりました。その後も、バイデン米大統領が超党派の上院議員とインフラ投資法案で合意に達したこと、FRB（米連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）が金融政策の正常化を急がない姿勢を示したこと、市場予想を上回る欧米企業の2021年4-6月期決算を好感したことなどから、上昇基調を維持しました。9月に入り、米国での新型コロナウイルスの感染再拡大や市場予想を下回った8月の米雇用統計を受けて景気の先行き不透明感が意識されたこと、中国の大手不動産会社の債務問題によって投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、FOMC（米連邦公開市場委員会）を受けて米金融政策の正常化が意識され上昇基調となった米長期金利への警戒感が高まったことを嫌気し、下落する場面もありましたが、10月以降、新型コロナウイルスの経口治療薬の早期実用化への期待が台頭したこと、米与野党が連邦政府の債務上限問題の先送り合意で当面の懸念が後退したこと、市場予想を上回る欧米企業の7-9月期決算を好感したことなどを背景に上昇に転じ、当期において世界の株式市場は上昇しました。

一方、為替市場では、当期初、米金融政策の正常化が早まるとの見方が台頭したことなどから米ドル高が進みました。その後、FRBが金融政策の正常化を急がない姿勢を示したことにより米長期金利が低下したことや、新型コロナウイルスの感染再拡大への警戒感などを受けた投資家のリスク回避姿勢の強まりにより、米ドル安が進む場面もありましたが、米債務上限問題が先送りされたことなどから投資家心理が上向いたことや、米金融政策の正常化が意識され米長期金利が上昇基調を強めたことを受けて米ドル高が進行し、期を通じて米ドル高・円安となりました。

＜Aコース／Bコース＞

○当ファンドのポートフォリオ

[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 当ファンドでは、世界各国の株式の中から、「IT関連」、「産業関連」、「医療・ヘルスケア関連」等の分野を中心に高度なAI（人工知能）先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないました。結果、AIの活用により中長期で成長が期待されるITセクターなどの投資比率を高めとしました。
- (2) 銘柄につきましては、企業のデジタルトランスフォーメーションが進み、デジタル広告市場がさらに拡大することで、その恩恵を享受して中長期的な成長が期待できると判断したメタ・プラットフォームズ（米国のインタラクティブメディアおよびサービス株）や、世界的な非現金決済の広がりを背景に中長期的な成長が期待できると判断したスクエア（米国の情報技術サービス株）などを買付けしました。一方、経済再開を背景とした成長期待が概ね株価に織り込まれたと判断したダイムラー（ドイツの自動車株）や、新興国を中心とした消費の拡大と世界的な非現金取引の拡大を背景とした成長に引き続き期待しているものの、経済再開を背景とした成長期待が一定程度株価に織り込まれたと判断したマスターカード（米国の情報技術サービス株）などを一部売却しました。

[野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース]

- ・主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を期を通じておおむね高位に組み入れました。

・為替ヘッジ（為替の売り予約）

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図りました。

[野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース]

- ・主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を期を通じておおむね高位に組み入れました。

・為替ヘッジ（為替の売り予約）

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド]

・投資環境

米国経済は、新型コロナウイルスによる落ち込みから急回復してきましたが、供給制約や感染再拡大の影響から2021年7-9月期の実質GDP（国内総生産）成長率が前期比年率+2.0%と、4-6月期（同+6.7%）から減速しました。今後は、財政出動効果による高水準の家計貯蓄率や雇用・所得環境の改善、感染再拡大の一服を背景に個人消費が底堅く推移し、経済を支えると思込まれます。FRB（米連邦準備制度理事会）はテーパリング（量的金融緩和の縮小）をこの11月から開始し、物価や雇用情勢を見極めつつ、金融政策の正常化に向かうと見られます。

・運用方針

当ファンドでは、世界各国の株式の中から、AI（人工知能）先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないます。

外部環境の不透明感が続くなかでも、AI関連などの高成長が期待される分野への注目は引き続き高く、各分野での勝ち組企業がますます強くなるという傾向が目立ちます。加えて、ITセクターだけでなく、幅広い業種や分野でAIを活用した新しい技術やビジネスモデルも普及してきています。引き続き、中長期的な競争優位性を見極めることを重視し、銘柄を選択してまいります。

[野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース]

主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

[野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース]

主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

今後とも、引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年5月15日～2021年11月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	153	0.864	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(74)	(0.418)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(74)	(0.418)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.012	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(2)	(0.012)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.004	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	156	0.881	
期中の平均基準価額は、17,728円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

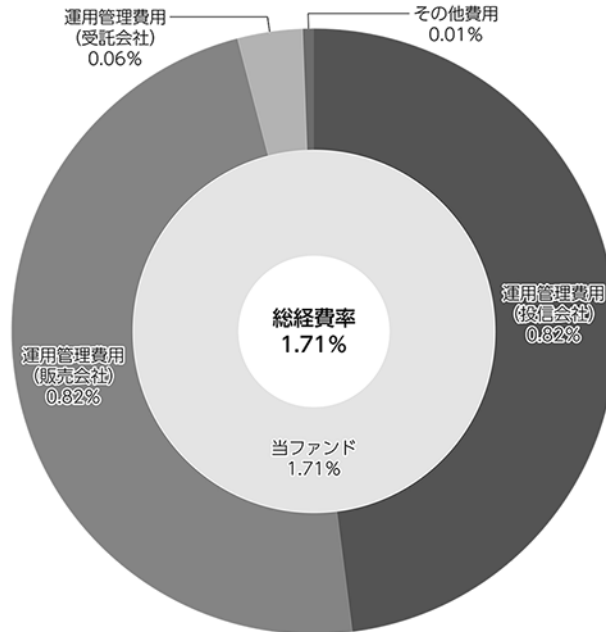
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2021年5月15日～2021年11月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	43,875,560	102,320,525	49,557,084	115,412,520

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2021年5月15日～2021年11月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	84,299,740千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	200,099,584千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.42

*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年5月15日～2021年11月15日)

利害関係人との取引状況

<野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース>
該当事項はございません。

<野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	%
株式	百万円 28,786	百万円 —	—	百万円 55,513	百万円 397	0.7

平均保有割合 49.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

<Aコース>

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	12,138千円
うち利害関係人への支払額 (B)	96千円
(B) / (A)	0.8%

* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

○組入資産の明細

(2021年11月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	千口 45,227,211	千口 39,545,687	千円 103,910,248

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2021年11月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	千円 103,910,248	% 96.1
コール・ローン等、その他	4,258,963	3.9
投資信託財産総額	108,169,211	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(201,828,052千円)の投資信託財産総額(213,866,317千円)に対する比率は94.4%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=114.00円、1ユーロ=130.50円、1香港ドル=14.63円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年11月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	204,473,018,085
コール・ローン等	4,183,209,887
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド(評価額)	103,910,248,298
未収入金	96,379,559,900
(B) 負債	100,361,481,258
未払金	96,501,099,850
未払収益分配金	2,779,545,334
未払解約金	202,527,520
未払信託報酬	876,609,499
未払利息	2,458
その他未払費用	1,696,597
(C) 純資産総額(A-B)	104,111,536,827
元本	55,590,906,688
次期繰越損益金	48,520,630,139
(D) 受益権総口数	55,590,906,688口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,728円

(注) 期首元本額は59,046,783,320円、期中追加設定元本額は1,058,079,667円、期中一部解約元本額は4,513,956,299円、1口当たり純資産額は1.8728円です。

○損益の状況 (2021年5月15日～2021年11月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 178,436
支払利息	△ 178,436
(B) 有価証券売買損益	22,156,299,134
売買益	28,005,029,419
売買損	△ 5,848,730,285
(C) 信託報酬等	△ 878,306,096
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	21,277,814,602
(E) 前期繰越損益金	21,647,014,435
(F) 追加信託差損益金	8,375,346,436
(配当等相当額)	(5,279,341,989)
(売買損益相当額)	(3,096,004,447)
(G) 計(D+E+F)	51,300,175,473
(H) 収益分配金	△ 2,779,545,334
次期繰越損益金(G+H)	48,520,630,139
追加信託差損益金	8,375,346,436
(配当等相当額)	(5,279,663,569)
(売買損益相当額)	(3,095,682,867)
分配準備積立金	40,145,283,703

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2021年5月15日～2021年11月15日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2021年5月15日～ 2021年11月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	126,907,598円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	21,150,907,004円
c. 信託約款に定める収益調整金	8,375,346,436円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	21,647,014,435円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	51,300,175,473円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	9,228円
g. 分配金	2,779,545,334円
h. 分配金(1万口当たり)	500円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	500円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年5月15日～2021年11月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	165	0.864	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(80)	(0.418)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(80)	(0.418)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.012	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(2)	(0.012)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.004	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	168	0.881	
期中の平均基準価額は、19,049円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

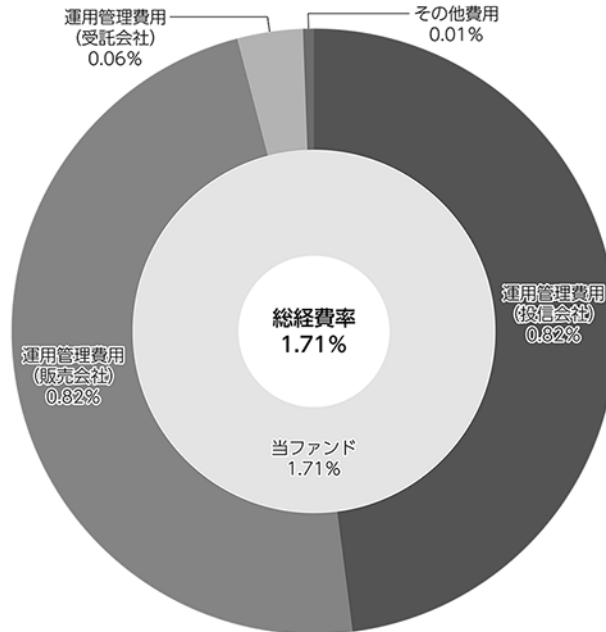
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2021年5月15日～2021年11月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	千口 694,092	千円 1,429,420	千口 5,062,348	千円 11,990,010

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2021年5月15日～2021年11月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	84,299,740千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	200,099,584千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.42

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年5月15日～2021年11月15日)

利害関係人との取引状況

<野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース>
該当事項はございません。

<野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	%
株式	百万円 28,786	百万円 —	—	百万円 55,513	百万円 397	0.7

平均保有割合 50.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

<Bコース>

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	12,541千円
うち利害関係人への支払額 (B)	99千円
(B) / (A)	0.8%

* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

○組入資産の明細

(2021年11月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	46,216,008	41,847,752	109,959,155

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2021年11月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	109,959,155	96.1
コール・ローン等、その他	4,465,129	3.9
投資信託財産総額	114,424,284	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(201,828,052千円)の投資信託財産総額(213,866,317千円)に対する比率は94.4%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=114.00円、1ユーロ=130.50円、1香港ドル=14.63円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年11月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	114,424,284,611
コール・ローン等	4,465,129,223
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド(評価額)	109,959,155,388
(B) 負債	4,247,627,917
未払収益分配金	3,209,647,345
未払解約金	130,276,593
未払信託報酬	905,947,978
未払利息	2,624
その他未払費用	1,753,377
(C) 純資産総額(A-B)	110,176,656,694
元本	53,494,122,430
次期繰越損益金	56,682,534,264
(D) 受益権総口数	53,494,122,430口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,596円

(注) 期首元本額は56,833,184,296円、期中追加設定元本額は1,244,052,227円、期中一部解約元本額は4,583,114,093円、1口当たり純資産額は2.0596円です。

○損益の状況 (2021年5月15日～2021年11月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 130,164
支払利息	△ 130,164
(B) 有価証券売買損益	26,793,744,366
売買益	27,880,430,037
売買損	△ 1,086,685,671
(C) 信託報酬等	△ 907,701,355
(D) 当期損益金(A+B+C)	25,885,912,847
(E) 前期繰越損益金	25,296,690,354
(F) 追加信託差損益金	8,709,578,408
(配当等相当額)	(6,021,396,886)
(売買損益相当額)	(2,688,181,522)
(G) 計(D+E+F)	59,892,181,609
(H) 収益分配金	△ 3,209,647,345
次期繰越損益金(G+H)	56,682,534,264
追加信託差損益金	8,709,578,408
(配当等相当額)	(6,021,799,207)
(売買損益相当額)	(2,687,779,201)
分配準備積立金	47,972,955,856

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2021年5月15日～2021年11月15日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2021年5月15日～ 2021年11月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	132,241,317円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	25,753,671,530円
c. 信託約款に定める収益調整金	8,709,578,408円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	25,296,690,354円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	59,892,181,609円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	11,196円
g. 分配金	3,209,647,345円
h. 分配金(1万口当たり)	600円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	600円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド

運用報告書

第5期（決算日2021年11月15日）

作成対象期間（2020年11月17日～2021年11月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。銘柄選定にあたっては、グローバルな視点でAI先端技術の研究成果に着目し、AI技術の実用化に伴って投資魅力が高まると考えられるAI関連分野の銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行ないます。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率	純資産額
		騰	落			
(設定日) 2017年2月23日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	百万円 109,154
1期(2017年11月14日)	12,506	25.1	92.0	-	263,313	
2期(2018年11月14日)	13,611	8.8	95.1	-	304,088	
3期(2019年11月14日)	15,044	10.5	96.2	-	231,096	
4期(2020年11月16日)	18,345	21.9	98.2	-	200,809	
5期(2021年11月15日)	26,276	43.2	97.5	-	213,866	

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率
		騰	落		
(期首) 2020年11月16日	円 18,345	% -	% 98.2	% -	
11月末	18,604	1.4	98.1	-	
12月末	19,099	4.1	95.3	-	
2021年1月末	19,331	5.4	97.6	-	
2月末	20,100	9.6	96.9	-	
3月末	20,513	11.8	94.6	-	
4月末	21,467	17.0	96.2	-	
5月末	21,353	16.4	98.4	-	
6月末	23,342	27.2	96.7	-	
7月末	23,674	29.0	96.5	-	
8月末	24,391	33.0	95.6	-	
9月末	23,055	25.7	97.5	-	
10月末	25,169	37.2	96.7	-	
(期末) 2021年11月15日	26,276	43.2	97.5	-	

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首18,345円から期末26,276円となりました。

- (上昇) 新型コロナウイルスのワクチン実用化による経済活動回復への期待が広がったこと、英国とEU（欧州連合）の通商交渉の合意を好感したこと、米上院決選投票で民主党が勝利し、上下両院で多数派になったことで大型の追加経済対策への期待が高まったこと、市場予想を上回る2020年10-12月期米企業決算や欧米各国の経済指標を好感したこと、為替市場で円が下落（円安）したこと
- (下落) 堅調な米経済指標の発表を背景とした量的金融緩和縮小への警戒感などから金利上昇に弱いとされる成長株が軟調に推移したこと、為替市場で円が上昇（円高）したこと
- (上昇) パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が利上げを急がない姿勢を示したこと、バイデン米大統領が超党派の上院議員とインフラ投資法案で合意に達したこと、2021年4-6月期の米企業決算が市場予想を上回ったこと
- (下落) 米国での新型コロナウイルスの感染再拡大や市場予想を下回った8月の米雇用統計を受けて景気の先行き不透明感が意識されたこと、中国の大手不動産会社の債務問題により投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、FOMC（米連邦公開市場委員会）を受けて米金融政策の正常化が意識され、米長期金利が上昇基調となったこと
- (上昇) 新型コロナウイルスの経口治療薬の早期実用化への期待が台頭したこと、主要な米国企業の2021年7-9月期決算が市場予想を上回ったこと、為替市場で円が下落したこと

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 当ファンドでは、世界各国の株式の中から、「IT関連」、「産業関連」、「医療・ヘルスケア関連」等の分野を中心に高度なAI（人工知能）先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないました。結果、AIの活用により中長期で成長が期待されるITセクターなどの投資比率を高めとしました。
- (2) 銘柄につきましては、企業のデジタルトランスフォーメーションが進み、デジタル広告市場がさらに拡大することで、その恩恵を享受して中長期的な成長が期待できると判断したメタ・プラットフォームズ（米国のインタラクティブメディアおよびサービス株）や、デジタルトランスフォーメーションの普及に伴って企業のデータ活用が進む中で、同社が提供するソフトウェアの需要が中長期的に拡大すると判断したエラスティック（オランダのソフトウェア株）などを買付けしました。一方、経済再開を背景とした成長期待が概ね株価に織り込まれたと判断したダイムラー（ドイツの自動車株）や、大型買収や一部経営陣の交代などから今後の業績に対する不透明感が高まったと判断したセールスフォース・ドットコム（米国のソフトウェア株）などを売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI（人工知能）技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

保有銘柄のうち、世界的な半導体需給の逼迫に加え、企業がデジタルトランスフォーメーションを進める中で、データ処理能力の高い当社製品の需要増期待が高まったことなどからエヌビディア（米国の半導体・半導体製造装置株）などが上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。

一方、米長期金利の上昇が懸念されたことやユーザー数の今後の成長に対する不透明感が高まったことなどからピンタレスト（米国のインタラクティブメディアおよびサービス株）などが下落したことが基準価額のマイナス要因となりました。



◎今後の運用方針

・投資環境

米国経済は、新型コロナウイルスによる落ち込みから急回復してきましたが、供給制約や感染再拡大の影響から2021年7-9月期の実質GDP（国内総生産）成長率が前期比年率+2.0%と、4-6月期（同+6.7%）から減速しました。今後は、財政出動効果による高水準の家計貯蓄率や雇用・所得環境の改善、感染再拡大の一服を背景に個人消費が底堅く推移し、経済を支えると思込まれます。FRB（米連邦準備制度理事会）はテーパリング（量的金融緩和の縮小）をこの11月から開始し、物価や雇用情勢を見極めつつ、金融政策の正常化に向かうと見られます。

・運用方針

当ファンドでは、世界各国の株式の中から、AI（人工知能）先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行いません。

外部環境の不透明感が続くなかでも、AI関連などの高成長が期待される分野への注目は引き続き高く、各分野での勝ち組企業がますます強くなるという傾向が目立ちます。加えて、ITセクターだけでなく、幅広い業種や分野でAIを活用した新しい技術やビジネスモデルも普及してきています。引き続き、中長期的な競争優位性を見極めることを重視し、銘柄を選択してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2020年11月17日～2021年11月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 6 (6)	% 0.029 (0.029)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.006 (0.006) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	7	0.036	
期中の平均基準価額は、21,674円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年11月17日～2021年11月15日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 —	千円 —	千株 326	千円 1,904,090
外国	アメリカ	百株 28,010 (4,555)	千米ドル 549,300 (—)	百株 51,802	千米ドル 1,030,046
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	3,510	23,816	7,973	58,668
	フランス	—	—	321	19,007
	オランダ	350	18,566	25	1,642
	香港	—	千香港ドル —	80,500	千香港ドル 88,098

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2020年11月17日～2021年11月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	191,589,965千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	197,242,394千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.97

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年11月17日～2021年11月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	65,637	—	—	125,952	397	0.3

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	58,707千円
うち利害関係人への支払額 (B)	196千円
(B) / (A)	0.3%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2021年11月15日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期		末
	株 数		株 数		評 価 額
機械 (39.8%)		千株		千株	千円
ダイキン工業	138.7		126.5		3,232,075
サービス業 (60.2%)					
リクルートホールディングス	918.7		604.5		4,878,919
合 計	株 数	金額	株 数	金額	金額
	1,057		731		8,110,994
	銘 柄 数 < 比 率 >		2		< 3.8% >

* 各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

* 銘柄欄の () 内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

* 評価額欄の < > 内は、純資産総額に対する評価額の比率。

* 評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ADOBE INC	2,030	2,066	135,860	15,488,058	ソフトウェア
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	1,617	—	—	—	インターネット販売・通信販売
AMAZON.COM INC	304	327	115,272	13,141,054	インターネット販売・通信販売
AMGEN INC	808	514	10,865	1,238,660	バイオテクノロジー
ANSYS INC	696	902	35,342	4,029,006	ソフトウェア
AVALARA INC	1,113	1,132	17,747	2,023,214	ソフトウェア
BEIGENE, LTD ADR	1,180	—	—	—	バイオテクノロジー
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	1,209	—	—	—	バイオテクノロジー
BIOGEN INC	729	—	—	—	バイオテクノロジー
CME GROUP INC	2,238	762	17,133	1,953,226	資本市場
CATERPILLAR INC DEL	—	718	15,025	1,712,916	機械
CHEGG INC	3,976	—	—	—	各種消費者サービス
COPART INC	2,835	—	—	—	商業サービス・用品
COUPA SOFTWARE INC	492	—	—	—	ソフトウェア
DANAHER CORP	2,497	—	—	—	ヘルスケア機器・用品
DEERE & COMPANY	769	466	16,722	1,906,407	機械
DISNEY (WALT) CO	2,794	—	—	—	娯楽
ETSY INC	1,102	—	—	—	インターネット販売・通信販売
META PLATFORMS INC	—	2,106	71,791	8,184,223	インタラクティブ・メディアおよびサービス
FORTINET INC	1,611	1,076	36,817	4,197,194	ソフトウェア
GLOBAL PAYMENTS INC	2,223	556	7,319	834,386	情報技術サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	2,913	798	17,746	2,023,126	コングロマリット
IDEXX LABORATORIES INC	792	488	30,655	3,494,690	ヘルスケア機器・用品
ILLUMINA INC	1,225	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス
INTUIT INC	1,649	1,890	118,501	13,509,126	ソフトウェア
INTUITIVE SURGICAL INC	434	825	29,281	3,338,116	ヘルスケア機器・用品
JPMORGAN CHASE & CO	3,408	—	—	—	銀行
LAM RESEARCH	—	549	34,280	3,907,995	半導体・半導体製造装置
LOCKHEED MARTIN	1,036	—	—	—	航空宇宙・防衛
MASTERCARD INC	2,548	1,351	49,108	5,598,408	情報技術サービス
MERCK & CO INC	2,376	—	—	—	医薬品
MICROSOFT CORP	4,380	4,220	142,095	16,198,925	ソフトウェア
NETFLIX INC	354	294	20,068	2,287,835	娯楽
NVIDIA CORP	1,307	4,730	143,744	16,386,895	半導体・半導体製造装置
PINTEREST INC- CLASS A	—	4,445	20,429	2,328,931	インタラクティブ・メディアおよびサービス
PLUG POWER INC	—	2,666	11,501	1,311,128	電気設備
QUANTUMSCAPE CORP	—	1,991	7,727	880,886	自動車部品
SALESFORCE.COM INC	3,098	—	—	—	ソフトウェア
SERVICENOW INC	1,314	1,424	98,455	11,223,911	ソフトウェア
SHOPIFY INC - CLASS A	146	210	35,059	3,996,830	情報技術サービス
SQUARE INC - A	—	1,544	35,095	4,000,843	情報技術サービス
STARBUCKS CORP	3,791	—	—	—	ホテル・レストラン・レジャー
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1,201	259	16,452	1,875,639	ライフサイエンス・ツール/サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC	547	589	27,034	3,081,934	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	515	1,534	48,730	5,555,285	ヘルスケア・テクノロジ
VERTEX PHARMACEUTICALS	920	670	12,548	1,430,521	バイオテクノロジー
WORKDAY INC-CLASS A	1,308	—	—	—	ソフトウェア
ZOETIS INC	2,319	1,474	31,963	3,643,860	医薬品
ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS-A	483	619	15,782	1,799,221	ソフトウェア
ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A	1,159	1,473	65,566	7,474,544	ソフトウェア
CYBERARK SOFTWARE LTD/ISRAEL	654	—	—	—	ソフトウェア

銘柄	期首(前期末)	当 期		末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
FIVERR INTERNATIONAL LTD		580	1,715	33,005	3,762,589	インターネット販売・通信販売
ELASTIC NV		—	5,060	92,436	10,537,713	ソフトウェア
小 計	株 数 ・ 金 額	70,680	51,443	1,617,169	184,357,312	
	銘柄 数 < 比 率 >	45	35	—	< 86.2% >	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES		7,973	—	—	—	自動車
HELLOFRESH SE		—	3,510	29,905	3,902,628	インターネット販売・通信販売
小 計	株 数 ・ 金 額	7,973	3,510	29,905	3,902,628	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.8% >	
(ユーロ…フランス)						
LVHM MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE		655	349	25,229	3,292,506	繊維・アパレル・贅沢品
SAFRAN SA		500	485	5,874	766,598	航空宇宙・防衛
小 計	株 数 ・ 金 額	1,155	834	31,104	4,059,105	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 1.9% >	
(ユーロ…オランダ)						
ASML HOLDING NV		505	829	61,316	8,001,756	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額	505	829	61,316	8,001,756	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 3.7% >	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	9,634	5,173	122,325	15,963,489	
	銘柄 数 < 比 率 >	4	4	—	< 7.5% >	
(香港)				千香港ドル		
ALIBABA HEALTH INFORMATION TECHNOLOGY LT		80,500	—	—	—	ヘルスケア・テクノロジー
小 計	株 数 ・ 金 額	80,500	—	—	—	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	< —% >	
合 計	株 数 ・ 金 額	160,814	56,616	—	200,320,802	
	銘柄 数 < 比 率 >	50	39	—	< 93.7% >	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2021年11月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 208,431,796	% 97.5
コール・ローン等、その他	5,434,521	2.5
投資信託財産総額	213,866,317	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建純資産(201,828,052千円)の投資信託財産総額(213,866,317千円)に対する比率は94.4%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=114.00円、1ユーロ=130.50円、1香港ドル=14.63円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年11月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	213,866,317,476 円
コール・ローン等	4,451,644,097
株式(評価額)	208,431,796,829
未収入金	944,811,745
未収配当金	38,064,805
(B) 負債	2,297
未払利息	2,297
(C) 純資産総額(A-B)	213,866,315,179
元本	81,393,440,283
次期繰越損益金	132,472,874,896
(D) 受益権総口数	81,393,440,283口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,276円

(注) 期首元本額は109,462,598,468円、期中追加設定元本額は91,261,684,906円、期中一部解約元本額は119,330,843,091円、1口当たり純資産額は2.6276円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
・野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース 41,847,752,850円
・野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース 39,545,687,433円

○損益の状況 (2020年11月17日～2021年11月15日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	863,809,393 円
受取配当金	867,873,469
支払利息	△ 4,064,076
(B) 有価証券売買損益	71,443,437,583
売買益	84,359,121,507
売買損	△ 12,915,683,924
(C) 保管費用等	△ 12,004,562
(D) 当期損益金(A+B+C)	72,295,242,414
(E) 前期繰越損益金	91,347,156,813
(F) 追加信託差損益金	105,562,588,605
(G) 解約差損益金	△136,732,112,936
(H) 計(D+E+F+G)	132,472,874,896
次期繰越損益金(H)	132,472,874,896

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。